あなたと博物館

松本市立博物館ニュース No.214 2018.1.1



もくじ

誌上博物館〈	> 重要文化財馬場家住宅20周年記念事業から・・・・・・・・・・2
ワークショップレポート <	〉四賀地区ミステリーツアーNo.2 虚空蔵山と岩屋社3
<	> 縄文土器づくり講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
ガイドコーナー〈	〉はんてんぼく・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

1月3日は市立博物館へ行こう!

[開館時間]午前10時~午後4時

松本市立博物館を無料開館します。当日は博物館 友の会による風水だるまなどの縁起物や七福神と 干支ピンバッジの販売を行います。

重要文化財馬場家住宅 20 周年記念事業から

平成29年9月16日から11月12日まで、馬場家住宅開館20周年を記念した特別展「馬場家住宅20年の歩み」を開催しました。

開催初日の開会セレモニーは、地元の古幡進一内田地区町会連合会会長をはじめ、多くの来賓をお迎えして盛大に行われました。当日は雨の予報もありましたが、セレモニーは無事行われ、その後、地元のササラ踊り保存会の皆さまによるササラ踊りの披露もあり、地区を挙げて20周年を祝うことができました。また、当日記念品とした、馬場家の家紋入り屋根瓦をモチーフとした日本手ぬぐい、馬場家住宅土塁の竹林を間伐して制作した竹製のぐい飲みも大変好評でした。



開会セレモニーの様子

この20周年記念事業として、馬場家住宅の主屋を会場として特別展を開催し、主屋の各部屋で5つのテーマに沿って展示を行いました。

主屋のオエでは、16代当主馬場太郎氏のご協力により馬場家文書を特別公開した"馬場家のたから"、カミオエでは内田地区の魅力を内田児童館の子どもたちの作品で紹介した"内田地区のたから"、ゲンカンでは開館以来の維持・管理の様子を写真で紹介した"馬場家住宅の20年"、ザシキでは馬場家住宅の美しさを紹介した"馬場家住宅で行宅の四季"、そしてコザシキでは馬場家住宅で行



馬場家文書「宗門御改並人別帳」と「内田村古絵図」

われている事業や子どもたちの活動を紹介した "馬場家住宅の営み"を各テーマとしました。こ れらの展示は、"馬場家のたから"コーナーを除 いて、馬場家住宅を開館以来撮り続けてきた郷土 写真家の宮嶋洋一氏の写真を中心に、館の記録写 真を織りまぜながら20年を振り返りました。

会期中にはこの他に、関連イベントをいくつか 実施しました。今年3月まで「文化・学術活動及 び地域貢献に係る」連携をしてきた名古屋大学の 西澤泰彦教授による記念講演会や、前出の宮嶋氏 によるギャラリートーク、また地域の市民団体で ある牛伏・鉢伏友の会、寿さと山くらぶによる昔 の遊び体験講座を行いました。いずれも多くの 方々にご参加いただき、好評でした。中でももち の姿がありました。こうした記憶が、大人になっ たときに良い思い出として残り、彼らの子どもた ちにも馬場家の魅力を伝えていく力になっていくのだ ろうと感じました。



昔の遊び体験講座"笹舟で遊ぶ"

馬場家住宅は、おかげさまで開館 20 周年を迎えることができました。これは、地域の皆さまをはじめとして、当館に来館し、さまざまにかかわってきた人たちのおかげと感謝しております。今回の催しは、これまでの 20 年を振り返るだけではなく、これからの 20 年、さらにもっと先まで、地域・松本市のたからとしての馬場家住宅を伝えていきたい、という思いを込めて実施しました。この展示をご覧になった方々に、その思いが通じていることを信じたい、と思っています。

(馬場家住宅 学芸員/澤柳秀利)

虚空蔵山と岩屋社 四賀地区ミステリーツアーNo.2

平成元年の四賀化石館開館時から続けている化 石教室は、小学生の親子向けに行ってきました。そ の参加者の方々を見ていて常々感じていたのは、大 人が子ども以上に夢中になっているということです。そ こで、平成27年度から「大人のための化石教室」 を立ち上げ、化石採集・化石クリーニング体験・四 賀地区ミステリーツアーなどを開催してきました。

そのなかでも四賀地区ミステリーツアーは好評で、 昨年開催時には、四賀地区の歴史と地層をめぐるマッ プを作成しました。四賀地区は、江戸時代には幕府 の直轄地であったため、松本藩の激しい廃仏毀釈か ら免れています。また、3つの宿場をもつ交通の要衝 で、中世からの大きな寺院や遺跡が残り、いまだ謎 の多い特殊な地区です。

今年度の「大人のための化石教室」は、四賀地 区ミステリーツアーNo.2として、虚空蔵山に登りました。 虚空蔵山は、四賀地区の象徴の山で会田富士と呼 ばれています。ケスタ地形や柱状節理という地質の 面、戦国時代は山城として利用されたことから、歴史

の面でも大変興味 深い山です。(※ ケスタ地形:傾斜 した地層の浸食に よりできる非対称 な丘陵地形※柱 状節理:マグマが



冷却する際に入った、柱状の規則的な割れ目)

そんな虚空蔵山でもっともミステリーなのが岩屋社で す。見下ろすのが恐ろしいほどに急な石段を上りきる と、苔むした大岩に挟まれるように、懸け造りの社が 見えてきます。岩屋社の中に入り、欄干から断崖を眺 めると、誰もが一種異様な霊気を感じます。古代の人々 は、この磐座(神の憑代である岩)にパワーを感じとり、 この場所に社を造ったのでしょう。

四賀地区には化石だけではなく、歴史と地層がおり なす不思議な場所がたくさんあります。四賀化石館が その不思議の入り口になっていけたらと思っています。

(四賀化石館 学芸員/高木美保子)

考 古 博 物 館 Tel.0263-86-4710

縄文土器づくり講座

松本市立考古博物館では、市内で出土した縄文 土器をモデルにして、土器の成形から野焼きまで行う 「縄文土器づくり講座」を秋に実施いたしました。

縄文土器は、今から約12.000年前より10.000年間 続く縄文時代に日本列島で使われていた土の器です。 粘土をこねて形をつくり、焼くことで水漏れのしない硬 い土器になります。この土器の発明は、縄文人の生活 を一変させた大発明といえます。「煮る」という調理方 法により、それまで生では食べられなかったものも食べ られるようになりました。その後、土器は調理や貯蔵以 外に、祭祀の道具にも使われるようになり、用途に応じ た様々な形の土器が作られるようになりました。

縄文土器の最大の特徴である華やかな模様は、ど

のようにして造りだされたのでしょ うか。講座では、1日目に縄を 転がして縄目模様をつける施文 の技術に挑戦しました。その後、 松本平を中心に、中部高地に広 く分布する唐草文系と呼ばれる

土器のデザインを 学び、当時の技 術を用いて粘土を ひも状にして巻き 上げながら成形し



ました。また、半裁竹管と呼ばれる竹材の施文具の 工夫も知ることができました。

約1ヵ月の乾燥後、講座2日目は、いよいよ「野焼 き」に挑戦です。野焼きによる縄文土器の焼成温度 は600℃から900℃といわれています。急激な温度変 化は割れの原因になるので、徐々に土器を火に近づ けていくことも学びました。考古博物館に展示されて いる土器をモデルに、土器製作を追体験するこうした 試みは、現代の生活を見直す契機になったのではな いでしょうか。

今後も考古博物館では、このような体験を通じて考 古学への興味と関心を高めてもらう事業を実施してま いりますので、ぜひ参加してみてください。

(松本市立考古博物館 学芸員/大島浩)

松本市立博物館は 松本城新春祝賀式に合わせ 臨時開館します

恒例となりました、「宝船 七福神と干支ピ ンバッジ」や、七福神グッズ入福袋の販売と、 「七福神記念写真用パネル」を設置します。

また、松本まるごと博物館友の会では、縁起だるまの販売や 招福干支根付の無料配布(なくなり次第終了)を行います。

時 1月3日(水)午前10時~午後4時 (最終入館は午後3時30分)

松本市立博物館から

☎0263-32-0133

年中行事サービス「まゆ玉サービス」

「まゆ玉」は、繭の豊かな収穫を祈って三九郎の際に飾り、食したも のです。来館者にこの松本の行事食をふるまいます。

時 1月14日(日)午前10時~なくなり次第終了 H

場 松本市立博物館

問 合 せ 松本市立博物館へ

収蔵品展~あの頃の松本~

博物館の収蔵品の中から大正・昭和の松本を伝える懐かしい資料 や写真を中心に、日頃の資料整理の成果を紹介します。

会 期 1月3日(水)~4月15日(日)

会 場 松本市立博物館 2階展示室

金 大人200円、小中学生100円 料

重文馬場家住宅から

☎0263-85-5070

内田のおんべ祭り見学会

H 時 1月14日(日)正午~午後4時

場 所 内田地区内 ※行程はすべて徒歩

定 員 10名

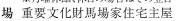
参 加 費 500円

申 込 み 12月5日(火)から馬場家住宅へ

企画展 松本の春みつけた! 2018 「古民家で楽しむひな祭り」

松本地方の伝統的な松本押絵雛による 雛飾りを、江戸時代の古民家の中で情景展 示をします。

期 3月1日(木)~4月8日(日) 会 ※月曜休館、休日の場合はその翌日 会



金 通常観覧料 (大人300円、中学生以下無料)



昨年の展示風景

時計博物館から

☎0263-36-0969

平成30年あめ市歴史展示 福の神とあめ市

江戸時代に始まったとされるあめ市は、城下町松本の正月の風物 詩となっている伝統行事です。本町5丁目の七福神人形のパネル解説 や、福の神を題材とした松本押絵雛などの展示解説を行います。

期 1月4日(木)~28日(日) 会 ※月曜休館、休日の場合はその翌日

会 場 時計博物館 3階企画展示室

料 金 無料(1、2階常設展は通常観覧料)

あとがき・

料

考古博物館での職場体験学習受入れ終了後、中学生からうれしい手紙 が届きました。「自分が就きたい仕事をするには、なりたい自分になるに は今どうしたらよいか、どんな勉強をしないといけないのか考える機会に なりました。…」志ある若者と出会えたことに感激しました。 (HO)

はかり資料館から

☎0263-36-1191

企画展『中町今昔物語展』

資料館が所在する中町周辺の明治時代以降の 町並みの変遷を写真で紹介します。

期 1月5日(金)~2月12日(月) 会 ※月曜休館、休日の場合はその翌日



縄手附近

場 はかり資料館 会

料 金 通常観覧料(大人200円、中学生以下無料)

【関連事業】無料開館・路上販売

博物館友の会ボランティア部会の協力により、松本だるまとはかり資 料館オリジナルグッズを路上で販売します。

時 1月14日(日)午前10時30分~なくなり次第終了

会 場 はかり資料館

考古博物館から

☎0263-86-4710

八十二銀行ウインドーギャラリー展「縄文の美一その形と心」

縄文人の世界観から紡ぎだされた神秘的な土器の文様など、縄文 人の美的感覚を写真で紹介します。

期 1月5日(金)~1月26日(金) ※月曜休館、休日の場合はその翌日

場 八十二銀行松本営業部 ウインドーギャラリー

観 覧 料 無料

速報展「発掘された松本2017」

2017年中に松本市内で実施された発掘調査等について、出土品 や写真を展示し、その成果をいち早くご紹介します。

会 期 2月17日(土)~3月4日(日)

場 所 時計博物館 3階企画展示室

金 時計博物館の通常観覧料 料 (大人300円、小中学生150円)

関連事業「発掘された松本2017~松本市遺跡発掘報告会~」

時 2月25日(日) 午後1時~午後4時30分

会 場 M ウイング 6 階ホール

金 無料 料

問 合 せ 文化財課まで ☎ 0263-85-7064

窪田空穂記念館から

☎0263-48-3440

冬季文化講座「冬日ざし」(全4回)

窪田空穂の歌集『冬日ざし』から名付けた講座です。空穂の生家 で冬の日ざしを浴びながら、講演を楽しみませんか。

時 ①2月4日(日)、②11日(日)、③18日(日)、④25日(日) 午後1時30分~3時

場 窪田空穂生家 (窪田空穂記念館向かい側) 会

定 員 各回50名ほど

参加費各200円

講

①「窪田家の人々と自由民権運動」上條宏之氏/ 長野県短期大学長、②「シューカツしてますか-れからの葬儀と墓一」福澤昭司氏/民俗研究家、 ③「日本人はいつから優しくなったか―生類憐みの 令の影響―」青木教司氏/郷土史家、④「古民家 で紅茶を学ぼう」徳武葉子/窪田空穂記念館職員・ ティーインストラクター

申 込 み 1月5日(金)から電話で窪田空穂記念館へ

あなたと博物館 No.214

発行年月日/平成30年1月1日 編集·発行/松本市立博物館

〒390-0873 松本市丸の内4番1号 Tel.0263-32-0133

URL: http://www.matsu-haku.com e-mail: mcmuse@city.matsumoto.lg.jp



印刷 川越印刷株式会社